

物理宇宙ショップ

[1]仮説

様々な発表会や科学コンテストに積極的に参加することで、科学的資質・能力を高めることができる。また、科学館や小中学校での活動は、教えるという立場から多くのことを学び、研究者としての資質の育成に繋がるものと考えられる。

[2]内容と日程(予定)

① 内容

県立科学館での科学ボランティア参加。学園祭での展示、発表。県立科学館での科学の祭典スタッフ参加。中学校への出前授業、小学生対象の天体観測会、生徒の自然科学研究発表会参加、物理チャレンジ出場。

② 日程(予定)

5月 科学館ボランティア

6月 学園祭展示発表

7月 全国物理チャレンジ1次 小学校への出前授業 全国高校総合文化祭

8月 全国物理チャレンジ2次

9月 日本学生科学賞県審査会

10月 中学校への出前授業

11月 生徒の自然科学研究発表大会

12月 小学生対象の天体観測会

1月 山梨県サイエンスフェスタ

2月 甲府南高校 SSH 中間報告会

[3]昨年度の検証

① 成果

例年実施している甲府市立内の小学校への出前授業や天体観察会はコロナの影響で実施できなかったが、これらの事業は、SSHの成果普及に繋がるとともに、本校生徒達の教える技術やプレゼンテーション力を高めることができると考えられるので、今後も継続実施していきたい。

② 課題 課題研究やコンテストへの取り組みの強化と成果のさらなる普及

③ 評価 全国総合文化祭和歌山大会で「雪の結晶の生成に関する研究とその応用」の研究を発表した。様々な発表会やコンクール等に出品し、効果的な論文のまとめ方や新たなプレゼンテーションの技法を学ぶことができた。コロナの影響で小中学校での出前授業が実施できなかったのは、残念ではあったが、様々な面で意欲的、積極的に取り組む姿勢が見られ、今までの研究成果を後輩に教えることで生徒達の成長を感じた。

